

◆◇第 43 回学術集会画像コンテスト審査基準◇◆

●審査内容

■ 臨床的有用性

診断、治療、経過観察において臨床的に有用であり、本例について超音波の特徴を十分に活かした画像であるかを評価します。

- ① 診断、治療、経過観察に役立ったか
- ② 超音波における疾患の特徴を十分に活かした画像であったか
- ③ 画像で診断、治療、経過観察の方向性が大きく変わる可能性があるか

■ 撮像テクニック

機器の新旧を十分考慮し、機器の性能を十分に活かして疾患の特徴を適切に表現できる設定としているかを評価します。また撮影条件やタイミング、患者の体位、対象物が解りやすい深度設定、適正画角であるかも評価します。

- ④ 機器性能を十分に活かしているか
- ⑤ 適正な装置設定で記録しているか（ゲイン、フィルタ、レンジ、フォーカス）
- ⑥ 検者の工夫や撮像条件が適切さ（撮像タイミング、患者の体位、検者のポジション）
- ⑦ 画像の解りやすさ（対象物に適切な深度設定である、対象物が中央にある、画角が適正であるなど）

■ 画質

新旧の機器に依じて、画像の鮮明度、コントラスト、プローブ選択などが適切かを評価します。

- ⑧ ノイズが少なく対象物が鮮明か
- ⑨ コントラストは適切か
- ⑩ プローブ選択は適切か

●審査方法

■ 1 次審査（実行委員会による書類審査）

第 43 回学術集会実行委員会において、上記の①～⑩の項目について各 10 点を満点とし、その合計点を集計します。80 点以上を 1 次審査通過作品とし、申込された会員宛に 2 次審査のお知らせを通知します。

■ 2 次審査（一般参加者による投票審査）

学術集会会場に掲示した作品の中から、静止画像 3 点、動画画像 3 点を選出し、投票していただきます。

■ 最終審査（集計）

1 次審査の得点に 2 次審査の得票数を合算して総合得点とします。表彰者選出は以下のとおりです。

静止画像部門：最優秀賞 1 名、優秀賞数名、努力賞 1 名

動画画像部門：最優秀賞 1 名、優秀賞数名、努力賞 1 名

以上